

研究名：腸回転異常症における再手術・短腸症候群に関する因子の検討

1. 研究の目的

腸回転異常症の多くは術後経過良好ですが、再捻転等により再手術を要することがあります。また中腸軸捻転により広範囲腸管阻血壊死をきたし、短腸症候群となることもあります。今後より良い治療を目指すため、当院で今まで経験した腸回転異常症の患者さんの記録を振り返り、再手術や短腸症候群に関連する因子について検討します。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターで開院から 2023 年 11 月までに腸回転異常症に対して手術治療を受けた方
- ② 研究方法：後方視的研究

3. 研究に用いる資料、情報の種類

手術時年齢、性別等の患者情報、症状等病歴、手術情報、検査データ、合併症の発生状況等個人情報には完全に秘匿されます。

4. 資料、情報の公表

日本小児外科学会学術集会で発表予定です。またその後論文として発表する予定です。

5. 研究実施機関

群馬県立小児医療センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○紹介先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先：

群馬県立小児医療センター外科 山口岳史

住所：群馬県渋川市北橘町下箱田 779 番地

電話：0279-52-3351

○研究責任者：

群馬県立小児医療センター外科 山口 岳史